

高速多光子顕微鏡及び超解像顕微鏡セミナー

日 時

11月8日(火)

【山手】 13:30~14:30

【明大寺】 15:30~16:30

※同じ内容を山手と明大寺で行います。

場 所

①山手：3号館2階 セミナー室(中)

②明大寺：基生研1階 第一セミナー室

演者

及川 義朗 氏 (株)ニコンインステック アプリケーション技術部

・高速多光子共焦点レーザー顕微鏡A1RMP

高速、高画質で高い評価をいただいている共焦点レーザー顕微鏡A1Rによる多光子励起イメージングを実現しました。高速レゾナントスキャナーによる毎秒420フレームの多光子励起画像取得が可能です。数々の新技術が加えられ、より多くの研究ニーズに応えます。

・超解像顕微鏡N-SIM/STORM

超解像顕微鏡N-SIM/STORMはこれまでの光学顕微鏡の限界も、電子顕微鏡の制約も打破して、生細胞をより精細に観察することが可能です。

N-SIMは「構造化照明顕微法」というイメージング法により、光学顕微鏡では不可能だった100nm以下の解像度を実現しました。

N-STORMはローカライゼーション法の一つであるSTORM法を採用し、従来の顕微鏡の約10倍(20nm)の解像度を実現しました。

従来の光学顕微鏡画像



N-SIMでの3D-SIM画像



画像一例;

Mito-Tracker redで染色した
NIH-3T3細胞のミトコンドリア。
N-SIMではクリステがはっきり
観察できる。